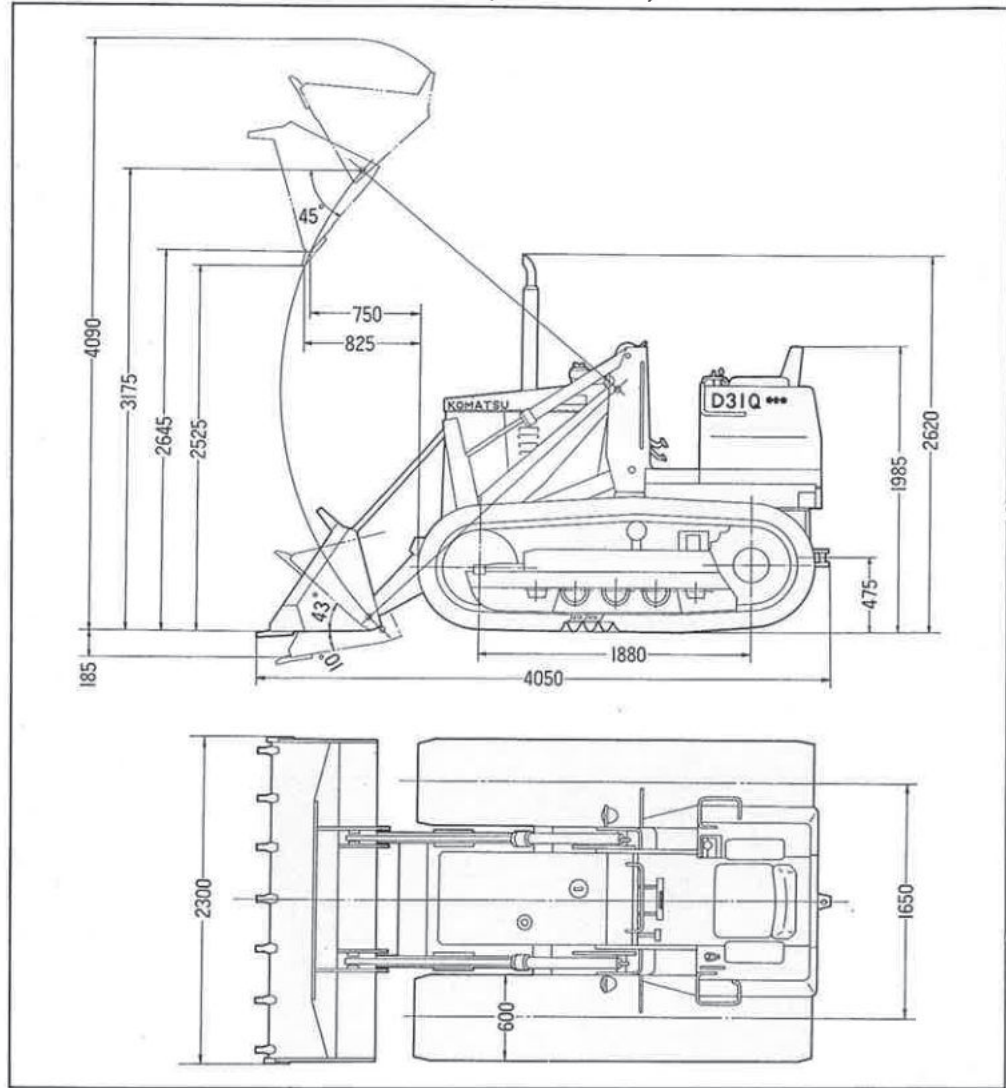


- 世界でただひとつのハイドロシフト機構を採用。前後進・変速はレバー1本のワンタッチ操作で思いのままです。もちろん、変速のたびに車を止めるようなめんどろもありません。操作が簡単なので、ひんぱんな前後進・変速を必要とする作業でもオペレータに負担をかけません。さらに、小形ブルにマッチした前後進3段を採用。特にコマツだけの後進3段は実作業で抜群の威力を発揮します。
- 定格出力63PS/2350rpm、総排気量4330cc、最大トルク25kgm/1400rpmの高性能エンジンを搭載。湿地での重作業にも独自のネバリを発揮、小形とは思えないパワフルな作業を約束します。もちろん、すぐれた経済性、低い騒音、きれいな排気色などでも他の追随を許しません。

- ダンピングクリアランスが2645mmとひじょうに大きいので、11トンダンプにも余裕をもって積込できます。さらに、インテグベダルを装備。微動走行ができるのでダンプへの接近も思いのまま、不慣れなオペレータでもラクな積込作業が行なえます。
- 足まわりには、土ばなれのよさで定評ある独特の円弧シューを装備。接地圧が0.31kg/cm<sup>2</sup>と低く、浮上性、けん引性、脱出性にすぐれているので、ぬかるみはもちろん、いままで機械の入れなかったような湿地でも機動性に富んだ作業が展開できます。さらに、接地長が長く、重心位置が適正なので、車体バランスは抜群。常に安定した掘削、積込みが行なえます。

◆ D31Q-16 湿地ドーザシヨベル(ハイドロシフト)



運転整備重量	7100kg
機関出力	63PS
バケット容量(標準)	0.8m <sup>3</sup>

性能		
最大積載荷重		1600kg
速度段	走行速度(km/h)	最大けん引力(kg)
前進1速	2.2	8050
2速	3.9	
3速	6.5	
後進1速	2.4	
2速	4.3	
3速	7.1	
(ただし最大けん引力は、機関最大トルク時の機械効率を80%としたときの計算値です。)		
最小旋回半径		2.4m
登坂能力		30°

主要寸法	
全長	4050mm
全幅(車体)	2250mm
バケット幅	2300mm
全高(履板先端から)	
バケット地上(排気管先端まで)	2620mm
バケット地上(排気管を抜くバックシート上端まで)	1985mm
バケット上昇	4090mm
接地長	1880mm
履帯中心距離	1650mm
接地面積	22560cm <sup>2</sup>
接地圧	0.31kg/cm <sup>2</sup>
最低地上高(履板先端から)(横軸ケースドレンプラグプロテクタ下端まで)	385mm
バケットヒンジピン高さ 最高位置(履板先端から)	3175mm
ダンピングクリアランス(向上) (45°前傾)(バケット爪を含まず)	2645mm
ダンピングクリアランス(向上) (45°前傾)(バケット爪を含む)	2525mm
ダンピングリーチ(45°前傾)	(バケット爪を含まず) 750mm
ダンピングリーチ(45°前傾)(爪外無効)	825mm
バケット後傾角(地上)	43°
バケット前傾角(最高位置)	50°
掘削深さ(10°前傾)(履板先端から)	(バケット爪を含まず) 185mm
掘削深さ(10°前傾)(地上)(バケット爪を含む)	235mm
機関	
名称	小松4D105 3ディーゼル機関
形式	4サイクル水冷直列立形 直接噴射式
シリンダ数-径×行程	4-105mm×125mm
総排気量	4330cc
性能	
定格回転速度	2350rpm
定格出力	63PS
最大トルク	(1400rpmにおいて)25kgm
燃料消費率	178g/PSH
燃料系統	
燃料	(JIS 2号)軽油
調整機	遠心式オールスピード式
潤滑系統	
潤滑方式	トロコイドポンプ圧送式
ろ過方式	フルフロー式
冷却方式	水冷式
冷却形式	遠心式水ポンプによる強制循環式
空気清浄器	遠心式およびろ紙式併用
始動方式	始動電動機式
始動電動機	24V 5.2KW
充電発電機	24V 25A
蓄電池	12V 120Ah×2個
伝達装置	
ダンパ	湿式スプリングフリクション式
変速機	
形式	遊星歯車式油圧作動式 潤滑油圧送式
変速段数	前進3段 後進3段

横軸減速機	まがり歯かさ歯車式 潤滑油はねかけ式
操向装置	
操向クラッチ	乾式 多板 スプリング加圧式 足動 油圧ブースタ付
操向ブレーキ	乾式 バンド式 足動 操向クラッチ連動
終減速機	平歯車 1段減速 潤滑油はねかけ式
足回り装置	
懸架方式	硬式
ローラの数	
上部ローラの数	片側 1組
下部ローラの数	片側 5組
履帯	
形式	組立式円弧シュー
履板高さ(リンク後面高さ3mmを含む)	77.5mm
履板の枚数	片側 37枚
ピッチ	154mm
履板幅	標準 600mm
作業装置	
リンク形式	単式
バケット刃先形状	爪付
油圧装置	
最大圧力	175kg/cm <sup>2</sup>
油圧ポンプ	
形式	歯車ポンプ
吐出量(機関定格回転速度2350rpmにおいて)	87ℓ/min
装置位置	機関後方
操作弁	
形式	2速スプール式
操作位置	
リフト弁	上・保・下・浮
ダンプ弁	ダンプ・保・チルト
リフトシリンダ	
形式	ピストン式 複動
内径×数	100mm×2個
ダンプシリンダ	
形式	ピストン式 複動
内径×数	80mm×2個
作動油タンク	
形式	操作弁外装式
装置位置	運転席右側
ろ過方式	フルフロー式
けん引装置	
形式	ピン式 固定式
けん引ピン位置(地上からの高さ)	(履板先端から)475mm
水・油類の種類および容量	
冷却水	22ℓ
燃料タンク	(JIS 2号軽油)115ℓ
機関潤滑油	(エンジンオイル)13ℓ
ダンパ	(エンジンオイル)1ℓ
変速機	(エンジンオイル)13ℓ
横軸減速機	(エンジンオイル)15ℓ
終減速機(左右各)	(エンジンオイル)11ℓ
油圧装置	(エンジンオイル)52ℓ

※機体重量3トン以上の建設機械の運搬は、「平輸建設機械運搬技能講習」を受講し、修了証を取得した人に限られます。